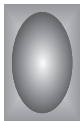


INFORMATION



Sixth International Muscle Energetics Conference Banff, Canada — July 22-27, 2006

We are pleased to announce the 6th International Muscle Energetics Conference to be held in the Canadian Rockies at the beautiful Banff Centre near Calgary, Alberta, Canada, July 22-27, 2006 (www.banffcentre.ca). The International Muscle Energetics Conferences have become the primary venue for the exchange of discoveries and ideas in the muscle energetics field. The previous conferences in this series have been held in Vermont, USA (1977, 1984 and 2001), Yufuin, Japan (1988) and Siena, Italy (1992). The principal objective of the program for 2006 will be to discuss the latest developments in energetics in a manner that bridges from molecules to living organisms. The program, which is being developed in consultation with an International Advisory Committee, will include plenary sessions involving talks by invited leaders in muscle energetics, short talks selected from submitted abstracts, regular and moderated poster presentations. We anticipate the participation of 150-200 delegates.

The Local Organizing Committee is composed of researchers from the University of Calgary who have a strong foundation in kinesiology and in cardiac, skeletal and smooth muscle research.

Calgary was the site of the 1988 Winter Olympic Games and the University has a unique heritage as a result, with superb sports facilities and a world-class Human Performance Laboratory in the Faculty of Kinesiology (www.kin.ucalgary.ca/hpl) that conducts basic and applied research relating to human neuromuscular and skeletal health and well-being, from birth to advanced age. In the Faculty of Medicine, the Smooth Muscle (www.ucalgary.ca/smrg) and Cardiovascular (www.cvr.ucalgary.ca) Research Groups conduct research focused on muscle structure-function relations and diseases of the heart and vasculature, with research programs spanning the continuum from individual molecules to human subjects.

A web site with details about the scientific program, registration, abstract submission, etc. will be created in due course. If you require additional information at any time, please contact Ms. Terry Connolly (tconnoll@ucalgary.ca).

We hope to see you in Banff in July 2006!
Please mark your calendars now!

Sincerely,

Michael P. Walsh

Chair, Conference Organizing Committee



文部科学省リーディングプロジェクト

「細胞・生体機能シミュレーションプロジェクト」国際シンポジウム

■会 期

平成17年7月6日（水）13：00～18：40

7月7日（木）9：00～16：30

■会 場

慶應義塾大学 三田キャンパス・北館ホール
（参加費無料）

■サブタイトル

慶應義塾大学拠点：網羅的代謝計測技術に基づく細胞機能シミュレーションとその応用

京都大学拠点：異分野融合による分子実体に基づく生物物理学的シミュレータの開発

神戸大学拠点：糖尿病疾患病態・治療薬作用のモデルシステムの開発

大阪大学拠点：循環・呼吸器疾患病態・治療薬作用のモデルシステムの開発

■招待講演

- ・ James B. Bassingthwaite, MD, PhD (University of Washington)
- ・ Marcos Intaglietta, PhD (University of California San Diego)
- ・ Yoshimi Takai, MD, PhD (Osaka University)
- ・ Yutaka Akiyama, PhD (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- ・ Hiroaki Kitano, PhD (SONY Computer Science Laboratories Inc.)

■プログラム詳細及び参加登録

ホームページ参照 URL：

<http://www.lp-biosimulation.com/>

■組織委員会

委員長

安西祐一郎（慶應義塾大学 塾長）

副委員長

齊藤 信男（慶應義塾大学 常任理事）

委 員

末松 誠（慶應義塾大学医学部 教授）

富田 勝

（慶應義塾大学環境情報学部 教授）

野間 昭典

（京都大学大学院医学部研究科 教授）

松田 哲也

（京都大学大学院情報学研究科 教授）

清野 進

（神戸大学大学院医学系研究科 教授）

倉智 嘉久

（大阪大学大学院情報学研究科 教授）

中村 春木

（大阪大学大学院医学系研究科 教授）

事務局長

宮澤 健夫（慶應義塾大学医学部 教授）

（本件に関するお問合せ先）

細胞・生体機能シミュレーションプロジェクト

統括マネージャー室

宮澤健夫

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

慶應義塾大学医学部 総合医科学研究棟2階

Tel：03-5363-3204 Fax：03-5363-3610

E-mail：miyatake@sc.itc.keio.ac.jp

事務局委託業者

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-7

秀和紀尾井町 TBRビル12階

（株）プロコムインターナショナル

Tel：03-3234-9931 Fax：03-3234-4456



千里ライフサイエンス技術講習会 第41回

「FRAPによる生体分子内のmobility測定」

日 時：平成17年9月8日(木)10：00—17：00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル

6階千里ルーム

ねらい：

生きている細胞内の生体分子は、一見、動いていないように見えても、実際には、さまざまな速さで流動しており、個々の分子は絶えず行き来している。このような生体分子の動きやすさ(mobility)を生きた細胞で測定する方法として、FRAP法(Fluorescence Recovery After Photobleaching)を紹介する。

講習では、FRAP測定の原理、共焦点蛍光顕微鏡とwide-field蛍光顕微鏡を用いた場合のFRAP測定(それぞれの特色と注意点)とmobilityの計算方法を紹介する。

コーディネータ：

情報通信研究機構 関西先端研究センター 生物情報グループ

グループリーダー 平岡 泰

プログラム：

(技術解説)

FRAP測定の原理と実験法、細胞培養と蛍光顕微鏡に関する留意点

(実習)

レーザー共焦点顕微鏡および通常の蛍光顕微鏡を用いたFRAPの測定、mobilityの計算

(講師)

情報通信研究機構 関西先端研究センター 生物情報グループ

グループリーダー 平岡 泰

情報通信研究機構 関西先端研究センター 生物情報グループ

主任研究員 原口徳子

京都大学大学院医学研究科 先端領域融合医学研究機構

科学技術振興教授 木村 宏

参加者資格：

大学もしくは企業の若手研究者で、蛍光顕微鏡に関する基礎知識を持っていること

定 員：30名

参加費：5,000円

申込方法：

以下の要領にてお申込みください。

①氏名、勤務先、役職名、所在地、電話、FAX番号を明記の上、FAXまたはE-mailで下記宛にお申込みください。

②事務局より受付の通知をお送りいたしますので、そこに記載した振込口座に参加費をお振込みください。

③入金を確認後、通常2週間以内に領収書兼参加証をお届け致します。

申込締切：平成17年7月29日(金)(財団必着)。

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：カールツァイス株式会社

セキテクノロン株式会社

株式会社千里ライフサイエンスセンター

問合先：財団法人千里ライフサイエンス振興財団
技術講習会G41係

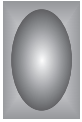
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：fujisawa-lsf@senri-lc.co.jp

URL：http://www.senri-lc.co.jp



千里ライフサイエンスセミナー

「睡眠とリズム —遺伝子から行動まで—」

日時：平成17年7月19日(火)10:00~17:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階
ライフホール

主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団
協賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター
着眼点：一眠れないあなたのために—

なぜ生物は眠るのか、快適な睡眠はどうしたら得られるのか、睡眠には未だ解明されていない謎が数多くある。今や睡眠研究は広い分野にまたがり、様々な角度からの探究が進められている。最新の研究成果をもとに睡眠の謎の解明に迫る。

コーディネーター：

(財)大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部
分子行動生物学部門 研究部長 裏出良博
プログラム：

1. 睡眠覚醒の分子機構

(財)大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部
分子行動生物学部門 研究部長 裏出良博

2. 生体リズムの基盤となる時計遺伝子の分子機構 神戸大学大学院医学系研究科 脳科学講座 分子脳科学分野 教授 岡村 均

3. 概日リズムと睡眠リズム—2振動体仮説の分子生物学的基盤—

北海道大学大学院医学研究科 総合生理学講座
時間生理学分野 教授 本間研一

4. サーカディアンCa²⁺濃度リズムと時計遺伝子 富山大学理学部 生物学科 生体制御学講座 助教授 池田真行

5. ヒスタミンH1受容体欠損マウスの睡眠—覚醒行動とヒスタミン神経系の変化

(財)大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部

分子行動生物学部門 研究員 黄 志力

6. オレキシン産生神経による睡眠・覚醒状態の安定化機構

筑波大学基礎医学系 薬理研究室 助教授
桜井 武

7. 長時間覚醒後のリバウンド睡眠の発生機構とその必要性について

早稲田大学 先端バイオ研究所 客員教授
江口直美

8. 概日リズム睡眠障害 —最近の知見—

滋賀医科大学 精神医学講座 教授 大川
匡子

参加費（講演要旨集合含む）：

3,000円（会員：大学・官公庁職員，財団の賛助会員）；5,000円（非会員）；1,000円（学生）

定員：300名

申込方法：

氏名，〒所在地，勤務先，所属，電話およびFAX番号を明記の上，郵便，FAXまたは電子メールで下記宛にお申込下さい。受付の通知を返送いたしますので，通知書に記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後，領収書兼参加証を送付いたします。

申込先：(財)千里ライフサイエンス振興財団セ
ミナー (V1) 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル8F

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：dnp-lsf@senri-lc.co.jp

(注：lsfは「エルエスエフ」，lcは「エルシー」)



第20回日本大脳基底核研究会

日 時：2005年7月9-10日
 場 所：豊橋市・シーパレスリゾート
 参加申込み・演題応募締め切り：
 2005年6月15日
 連絡先：

生理学研究所生体システム研究部門内 第20
 回日本大脳基底核研究会事務局
 TEL 0564-55-7774 FAX 0564-52-7913
 E-mail : jbags@nips.ac.jp
 URL : <http://www.nips.ac.jp/jbags/>



生理学若手サマースクール2005実施要綱

テーマ：「情動・感情の生理学的理解」
 開催日時：平成17年8月7日（日）～9日（火）
 開催場所：東京医科歯科大学5号館講堂
 （東京都文京区湯島）

参加資格：

大学院生・学部学生・若手研究者（企業の研究者も含む）・その他
 （生理学会会員である必要はありません）

申し込み方法：

ホームページからの登録（6月上旬開始予定）
 (<http://physiol.cognitom.com>) からリンクされています。

アドバイザー：

金子章道（日本生理学会会長，慶應義塾大学名誉教授，星城大学リハビリテーション学部教授）
 泰羅雅登（日本大学総合科学研究所教授）

運 営：

主催 日本生理学会
 後援 文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域事務局・問い合わせ：
 玉川大学学術研究所脳科学研究施設脳イメージング部門内
 松田哲也
 Tel & Fax : 042-739-8458
 E-mail : tetsuya@lab.tamagawa.ac.jp

【プログラム】（敬称略）

◆8月7日（日）

10：00— 受付開始
 10：30— 開講式
 開講の挨拶 金子章道（日本生理学会会長・慶應義塾大学医学部名誉教授・星城大学教授）
 11：00—12：30 Basic Course 1
 神経生理学の基礎：皆さんの質問にお答えして
 泰羅雅登（日本大学総合科学研究所・教授）
 13：30—15：30 Basic Course 2
 生理学の基礎：神経伝達と神経修飾
 岡良 隆（東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻・教授）
 16：00—18：00 Applied Course 1
 情動の分子イメージング
 須原哲也（放射線医学総合研究所・特別上席研究員）

◆8月8日（月）

10：00—12：00 Applied Course 2
 表情認知とその障害
 河村 満（昭和大学神経内科・教授）
 13：30—15：30 Applied Course 3
 モノアミン神経伝達と情動
 曾良一郎（東北大学大学院医学研究科精神神経生物学分野・教授）
 16：00—18：00 Applied Course 4
 情動による身体状況の変化メカニズム（情動の自律神経出力）
 桑木共之（千葉大学大学院医学研究院先端医学

研究部門・教授)

◆8月9日(火)

10:00—12:00 Applied Course 5

遺伝子改変マウスを用いた情動・感情の研究

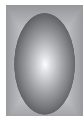
宮川 剛 (京都大学大学院先端領域融合医学研究機構生体遺伝子機能研究グループ・助教授)

13:30—15:30 Applied Course 6

情動と行動発現の神経機構

西条寿夫 (富山医科薬科大学大学院医学系研究科システム情動科学・教授)

15:30—16:00 閉講式



平成17年度「日本医師会医学賞」ならびに 「日本医師会医学研究助成費」候補の推薦について

1. 日本医師会医学賞

- (1) 1名当り 500万円
- (2) 基礎医学部門・社会医学部門・臨床医学部門を通じ計3名におくられる。
- (3) 貴機関からの推薦数は**各部門1名以内**

2. 日本医師会医学研究助成費

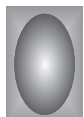
- (1) 1件当り 150万円
- (2) 基礎医学部門・社会医学部門・臨床医学部門を通じ計15件におくられる。
- (3) 貴機関からの推薦数は**各部門1件以内**

3. 注意事項

- (1) 被推薦者は日本医師会会員であることが条件です。所属医師会を必ずご記入下さい。
- (2) 締切は、平成17年7月5日(火)(本会必着)です。
- (3) 推薦書はワープロまたは黒インク・黒ボールペンでご記入下さい。
- (4) 用紙は、医学賞が4枚、医学研究助成費が3枚あります。また用紙は、日本医師会のホームページ (<http://www.med.or.jp/>)

からダウンロードできます。

- (5) 「部門」欄には「基礎」「社会」「臨床」のいずれか審査を希望する部門を必ずご記入下さい。
- (6) 「医学賞」候補には業績欄に記入した主要文献を必ず添付して下さい(別刷にても可)。
- (7) 推薦者は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長(別紙参照)に限ります。
- (8) 推薦書送付先
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
日本医師会生涯教育課宛
封筒のオモテに「医学賞」もしくは「助成費」推薦書類在中と朱筆して下さい。
(担当:生涯教育課
電話 03-3946-2121(代)内線3241~2)



The 6th Meeting of the International Society for Neuro Immuno Modulation (ISNIM)

Meeting President: Prof. G.P. Chrousos, MD

Date: September 25-28, 2005

Abstract deadline: June 20, 2005

Registration Fee: ISNIM members, 250€; Non-

members, before June 20, 35€

Location: Athens Hilton Hotel, Athens, Greece

Congress Web site:

<http://www.erasmus.gr/congresses/isnim2005/>

ISNIM Web site:

<http://www.isnim.org/index.html>

Topics

Cytokines signal transduction in the interaction of the nervous and immune systems

Neuroendocrine immune basis of rheumatic diseases

Aging-Neuroendocrine and autoimmune adaptations in aging

Immunomodulatory neuropeptides and other

substances

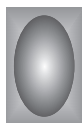
Neuroimmune interactions in pain

Neuro-immuno-endocrinology of sleep disorders and emotional stress

Novel functions of cytokines in the nervous system

The adrenal-cytokine connection in the HPA axis

Stress system (activators, mediators, effectors, counter-regulator), etc.



第98回近畿生理学談話会

開催日：2005年9月10日

会場：滋賀医科大学・看護学科棟

連絡先

滋賀医科大学生理学講座 陣内皓之祐, 松浦 博
〒520-2192

滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学生理学
講座

TEL：077-548-2148, FAX：077-548-2146

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqphysil/kinkip98/>

E-mail：kinkip98@belle.shiga-med.ac.jp

*演題申し込みの締切 7月15日(金)(必着)